

# 匝瑳市議会の議会運営等の正常化のための調査特別委員会会議録

日 時 令和2年8月20日（木曜日）午後3時00分開議

場 所 第2委員会室

会議に付した事件

(1) 証人の出頭請求申出について

出席委員等（8名）

委員長	林 明 敏 君	副委員長	田 村 明 美 君
委 員	宮 内 康 幸 君	〃	平 山 政 利 君
〃	行 木 光 一 君	〃	浅 野 勝 義 君
〃	佐 藤 悟 君	議 長	石 田 勝 一 君

欠席委員（0名）

事務局職員出席者

事務局 長	増 田 善 一	主	幹 山 崎 利 男
主	査 川 島 誠 二		

### 開議の宣告（午後 3時00分）

○林 明敏委員長 皆さん、御苦労さまです。

本日、ただいまの出席委員数は7名であります。よって、定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

ただいまから匝瑳市議会の議会運営等の正常化のための調査特別委員会を開きます。

各位の御協力をよろしくお願いいたします。

本日の議題につきましては、証人の出頭請求申出について、であります。



### 証人の出頭請求申出について

○林 明敏委員長 これより議事に入ります。証人の出頭請求申出について、を議題とします。

私より御説明申し上げます。

付託調査事項、9月26日匝瑳市議会での栗田剛一議員の発言に関する事実内容の確認について調査を行うため、さきに委員長、副委員長に一任となっておりました署名簿の調査について、前委員長、また現副委員長と相談した結果、戸谷喜子男氏、山口和代氏を証人として出頭を求めたいと思います。

また、証言を求める事項といたしましては、署名簿作成の経緯についてとしたいと思えます。

なお、出頭を求める日時につきましては、委員長に御一任をいただければありがたいと思えます。

以上です。各位の御意見を求めます。

佐藤委員。

○佐藤 悟委員 私は持論としてだよ、持論として、もう証人はいらないと。そのように思っています。ただ一言それは付け加えておきます。

○林 明敏委員長 ほかに御質問ありますかでしょうか。

平山委員。

○平山政利委員 私はこの証人出頭で、今後のですね、要するにこの調査特別委員会、今回、今度証人を出頭ってことで一応今日はまあ議題ですか。ある程度、その終息のですか、そういうのが分かれば、もし。一応今回また証人出頭して、それでその後今度また何々ってずるずる行くのか。ある程度の考えがあれば、それをちょっとお聞きしたいと思うんですが。

○林 明敏委員長 平山委員の御質問に私がお答えします。

一応この前、中間報告がありまして、その中で署名の真偽についても調査するというこ  
とで。また、平山委員も議事録にあります、山口さんと戸谷さんの話を述べていただい  
て。それで調査をしていく中で、その方のお答えを聞いて、それで私が代表であって、こ  
れ全部私がやったとかというようなことで、全部この署名の関係について、その方が真意  
を述べていただければ、それで終息になるかも分からないんですが。

あと、一応この証人を呼んで、その内容を吟味してみないと分からないので、平山委員  
の質問で、どこで終わりにするかというのは今の段階ではちょっとお答えできませんので。

(「とりやさん」と呼ぶ者あり)

○林 明敏委員長 戸谷喜子男、山口和代さんです。

(「和代」と呼ぶ者あり)

○林 明敏委員長 ええ。

平山委員。

○平山政利委員 そうすると、一応この証人出頭でやりますよね。で、それで証人の返答次  
第。まあ返答っていったらちょっとあれか、話し方次第ではまだ終息しないで行くってこと  
で。そういうような考えですか。

私もこの前の委員会のとくに、ある程度の線は出ちゃってるんですよ。中間報告って  
ところで。だから、あとこれ以上ね、もうどうかなってというのは私の考えなんですよ。

だから今も申しあげましたようにね、ある程度の終息は大体どの辺を見てるのかってこ  
とで聞いたわけです。

今の委員長の話だと戸谷さんと山口さんですか、証人が来て、当然話すると思うんです  
よね。その成り行きですか、それに対して納得する、しないというのは委員長の判断。ま  
あ委員長というより委員の判断だと思うんですが。

それで例えば、何だこれは、ちょっととなれば、今度また次に行くってというような形っ  
てことで。だから、一応この証人喚問をした時点で終わりってわけではないってことす  
か。

(「結果次第だ」と呼ぶ者あり)

○平山政利委員 そういうふうに解釈して。

○林 明敏委員長 私の委員長として、平山さんの質問にお答えするとすると、証人のお答  
えを聞いてみないとその先はちょっと分からないので、今現時点でどのように進展していく  
のかってちょっとお答えできません。

浅野委員。

○浅野勝義委員 今のね、一連のやり取りを聞いていまして、ちょっと委員長としての的確な回答をしていないと思います。もっとよく考えて、的確な回答をすべきだと私は思います。

意味分からなかったら、分からないと言ってください。私が説明します。お願いします。

○林 明敏委員長 今の説明で私はそういう理解できたと思いますので、ちょっと分からないですね、はい。

(「分からない」と呼ぶ者あり)

○林 明敏委員長 はい。

浅野委員。

○浅野勝義委員 私はその、委員長を擁護する、また佐藤委員を擁護する、平山委員を擁護するという立場じゃありません。どちらでもありません。

ただね、これは特別委員会なんですよ。あなたはその委員長です。ですから、委員の責務を果たすのがあなたの役目でしょ。それを述べてくれればいいでしょうよ。

皆さん委員ですから、その責任を皆さん痛感してると思います。どういう形でこの委員会ができたのかから始まって、一連、皆さんそこに在席していたわけですよ。分かってると思います。

ですから、この委員会は結局、議会を挙げて調査をしろということで始まったわけでありまして、それを調査するための特別委員会であります。その結論が出るまで調査するのは当然でしょうよ、委員長。

だからその辺をね、明確に答えてあげてくださいよ。ですから、皆さん心の中では分かっているんですよ。ただあまり長いからね、大体もう荻谷議員の告発まで出たんだと。そろそろいいんじゃないかと。そういう思いは私もあります。

しかしながら、告発したのは議会であって、特別委員会ではありません。ですから、特別委員会はあくまでも我々も責務である調査をして、事実関係を究明することが我々委員会の責務であります。

その辺のところを委員長強くさ、頭に持ってもらって、それで委員会をどうするかということ判断していただきたいと思います。

以上です。

○林 明敏委員長 ほかに御意見はありますか。

じゃあ、ないようですので、採決に入ります。

戸谷……

(「何の採決」と呼ぶ者あり)

○林 明敏委員長 戸谷喜子男氏を。

(「それ、まだはっきり言ってないじゃない。言ってる」と呼ぶ者あり)

○林 明敏委員長 言いましたよ、先ほど。

(「もう一度お願いします」と呼ぶ者あり)

○林 明敏委員長 署名簿の調査について、結果、戸谷喜子男氏、山口和代氏を証人として出頭を求めたいと思います。

また、証言を求める事項といたしましては、署名簿作成の経緯についてとしたいと思います。

なお、出頭を求める日時につきましては、委員長に御一任をお願いしたいと思います。

この件について、採決をさせていただきたいと思います。

今私の述べたことについて、戸谷喜子男氏、山口和代氏を証人として本委員会に出頭を求めることについて賛成の委員の挙手を求めます。

浅野委員。

○浅野勝義委員 戸谷喜子男氏、それから山口氏を呼ぶための理由ですか、それは先ほどから説明いただきましたっけ。自分もちょっと今暑いところで、ちょっと認知症も入ってますもんでね、そんなに記憶がないんですが。その辺の説明をしていただいて、そして皆さんに話し合いをいただいて、呼ぶことが適当か適当でないかをまず。それで採決になるでしょ。

その辺のところをもっと柔軟で。時間どおりでなくてもいいと思いますが、いかがなものでしょうか。

(「賛成」と呼ぶ者あり)

○林 明敏委員長 委員長としてこれを提案したのは、戸谷さん、山口さんが荻谷進一議員の証人喚問のときに代表ということで名前が出ていますので、この代表の方にお話を聞きたいということで提案させていただいています。

田村委員。

○田村明美委員 戸谷氏と山口氏ということで、5月14日に行われた荻谷進一氏に対する証人喚問の中で、荻谷氏からの回答発言の中で、戸谷喜子男氏、山口氏という方の名前が出てくるわけですね。

それで、ただ署名に関わって、中心となって署名運動を行ったようだというだけでなく、そもそもの家畜保健衛生所建設問題の反対運動の中心となっているのかなど。不明なんです。その部分についてもきちんと事実確認させていただきたいなと思ってるんですね。

なぜならば、誰が言った言わないだけではなくて、ずっと出てきていますけども、匠瑛市に関わる重要な県の施策について反対であるという、その理由はあるでしょうけども、反対であるということ、事実を、市長の意思を偽るというか、事実とは異なるやり方をして県を動かそうとしたっていう流れがあったわけですよ。それが分かってきたわけですよ。

そうすると、それを中心となってやった方々、あるいは方、誰なんだろうと。どうしてそういうことになってしまうんだろう、しまったんだろうっていうのは物すごくやっぱり疑問で、ここを事実解明しないと今後の匠瑛市と県との関係とか、匠瑛市の議会、それから市政の発展に関しても影響があるんじゃないかと。

市民である戸谷氏や山口氏などがやっぱり本当に問題意識を持って、これは大変なことだということで始まったものなのか、それとも別の全く違う角度の動きがあって、それに参加しただけなのかとか。

何かもう少しね、住民の皆さん、市民の皆さんと、それから議員とか県議会議員とかというのに関わりっていうのは一体どうなっているんだろうっていうのを解明していきたいなというふうに私は今思っています。

ですので、委員長のほうで、ちょっと今回で一応の区切りというふうにはなるかどうかは分からないと、不明だと、未定だということは、事実解明というところではもう少し時間がかかるのかもしれないなというふうに思うんですが、ぜひやり遂げなければならないというふうに思います。

以上です。

○林 明敏委員長 ほかに御意見が有りますでしょうか。

行木委員。

○行木光一委員 これは栗田発言が発端で始まったということですよ。で、皆さんで調べるといって、私たちが議員間の代表ですよ、百条委員会を13回やらしてもらってますね。

その中で署名簿についてはですね、まだ触れてないんですよ、ほとんどね。そういう署

名に対してですね、やはりこれを調べて、ある程度のことを調べて、やはり署名簿についても結論を出さないと。99%の人が反対しているということをきちんとですね、掲げておりまして。これをですね、やはり調査したほうがいいと栗田議員も言ってるんで。やっぱりそれに沿って、やはりこれを抜かしてですね、委員会を閉じてしまったら大変なことになってしまうということですね。

とにかく委員長の言っているとおおり、荻谷証人が来たときもですね、この二方とやりましたということをきちんと言ってるわけですから、その進め方とか内容をですね、きちんとお聞きして、それでさっぱりしたほうが百条委員会としてね、きちんとできるということ。委員長、私は賛成でございます。

○林 明敏委員長 ほかに御質問ありますでしょうか。

なければ採決を採りたいと思いますので、よろしいでしょうか。

ないようですので採決に移ります。

戸谷喜子男氏、山口和代氏を証人として本委員会に出頭を求めることについて賛成の委員の挙手を求めます。

[可否同数]

○林 明敏委員長 ありがとうございます。可否同数であります。

委員長といたしましては賛成の立場ですので、可決されました。



### 散会の宣告

○林 明敏委員長 以上で匝瑳市議会の議会運営等の正常化のための調査特別委員会を終了します。お疲れさまでした。

午後 3時18分 散 会



署 名

令和2年8月20日

委員長 林 明 敏